

あさみ いせき
朝見遺跡（第5次）

所在地 : 松阪市 立田町・和屋町（まつさかし たつたちょう・わやちょう）
遺跡までの交通手段 : 道路…名古屋方面から来た場合、国道23号線西黒部町2の交差点を右折し、県道59号線を2～3kmほど南進した辺りにあります。
鉄道…近鉄櫛田駅下車 北西へ約1～2km（徒歩約15～30分くらい）
発掘調査期間 : 平成26年5月上旬～12月8日（月）（予定）
発掘調査面積 : 計8,827㎡（予定）

位置情報URL : [三重県地図情報サービス](#) [朝見遺跡発掘調査現場](#)

3年ぶりに朝見遺跡を本格的に発掘調査します！

朝見遺跡の周辺には、一辺が約110mの正方形をした条里地割（古代の耕地区画）が現代に残っています。これまでの発掘調査では、中国から輸入された青磁の椀や、今の愛知県や滋賀県などで作られていた緑釉陶器、墨書土器など、平安時代の高級品や貴重品が多数見つかっています。朝見遺跡は櫛田川の対岸にある斎宮跡（明和町）に近いので、それに関わる施設が置かれていた可能性があります。

今年度の調査でも、平安時代の集落跡や貴重な遺物などが見つかる可能性が高いと思いますので、どうぞご期待ください！

☆これまでの調査の結果・・・こんなものが発見されています！



平安時代の井戸

地下水位が高く、木の腐敗がおさえられて木製の井戸枠がよく残っています。



井戸からの出土品

墨書土器や、木製の祭祀具などが発見されています。

＜問い合わせ先＞ 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川503
三重県埋蔵文化財センター調査研究1課
担当者：櫻井・谷口・森・嶋田
電話：0596-52-1732 FAX：0596-52-7035
E-mail：maibun@pref.mie.jp